

## 一心寺門前浪曲寄席鑑賞 第3回

平成31年2月9日(土)、天王寺・一心寺門前浪曲寄席鑑賞のため一心寺南会所に参集。鑑賞会を始めて今回で3回目です。

今年も午前11時30分にJR天王寺駅に集合。親鴨会7名と一般の人1名、計8名が参加しました。(全員記念写真:最後に掲載)

浪曲が本当に好きで、毎年参加くださる人、初めて浪曲を聴くという人、毎年いろんな人に参加頂いています。今年は、一般の方が電話してこられ「参加したい」との事、特に問題もなくご参加いただきました。

阿倍野地下街でめいめい自由に昼食、私は「古潭」で餃子しょうゆラーメンを食べました。安くて美味しい、鼻負の店です。昼食後、歩いて10分ほどの会場・一心寺南会所へ向かいました。

開演50分前には到着。まだあまり観客はいません。会場は自由席なので、良く見える好きな場所に着席。

時間があるので一心寺にお詣りする人も。

開演20分前にはもうほぼ満員です。今回は人気絶頂の女流浪曲師春野恵子さんの出演もあり、参加者は多いようです。早いうちに入場していないと、席がなくなるころでした。

春野恵子さんは我々の仲間・東端さんの知り合いで、最後に記念写真にも入っていただき、お話しする機会がありました。感動です。

それにしても東端さんの顔の広さに感心します。

浪曲寄席、午後1時開演。本日の演者は4人の浪曲師。春野恵子、天中軒景友、京山小圓嬢、松浦四郎若です。

◎春野恵子さんは才媛の女流浪曲師。私自身最も好きな浪曲師の一人です。大阪、東京をはじめ海外にも、浪曲復興のために势力的に活動されています。独自の発想で、落語をはじめジャンルを超えた演芸・伝統芸能とのコラボ企画により、若者への浪曲の普及に努めています。

◎天中軒景友さん、浪曲界に入って2年。私は初めて天中軒景友さんを聴きました。ろうろうとした素晴らしい声、ユーモアにも溢れ、いい浪曲師になりそうな予感がし

ます。浪曲以前はギタリストとして活動していたそうです。

◎京山小圓嬢さん。八十歳なかば、関西浪曲界の重鎮、大ベテランです。

平成25年には文化庁芸術祭大賞を受賞されています。

徐々に高い声も出にくくなってきているようですが、「声が出る限り死ぬまで浪曲を続ける」とおっしゃっています。これからも元気な声を聞かせていただきたいものです。

松浦四郎若さん。さすがに聞かせます。まさに浪曲界を牽引する演者です。今日は、伊達騒動の一節、聞きほれていると「ちょうど時間となりましたア」このつづきは何時、何処で聞けるんだあ～～。

出口で、景友さん、小圓嬢師など皆さんが見送って下さいました。いつもながら、有難いことです。

楽しい浪曲寄席も無事おひらき。皆満足していただきました。来年度もまた同じ時期に「一心寺門前浪曲寄席」を実施したいと思います。

参加者全員の記念撮影。春野恵子さんもご一緒いただいています。



(敬称略)  
 一列目右より、瀬並、西野(信)、西田、岡野  
 二列目右より、東端、春野恵子さん、森(一般参加)、酒本、入田

文責：西田義雄